

カナダ高配当株ツインα (毎月分配型)

追加型投信／海外／株式

日経新聞掲載名：カナダ株2α

第25作成期 2025年4月18日から2025年10月17日まで

第143期 決算日
2025年5月19日

第144期 決算日
2025年6月17日

第145期 決算日
2025年7月17日

第146期 決算日
2025年8月18日

第147期 決算日
2025年9月17日

第148期 決算日
2025年10月17日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、カナダの高配当株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、高水準のインカムゲインとオプションプレミアムの確保、ならびに中長期的な信託財産の成長を目指します。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当作成期の状況

基準価額(作成期末)	2,002円
純資産総額(作成期末)	10,133百万円
騰落率(当作成期)	+24.2%
分配金合計(当作成期)	60円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

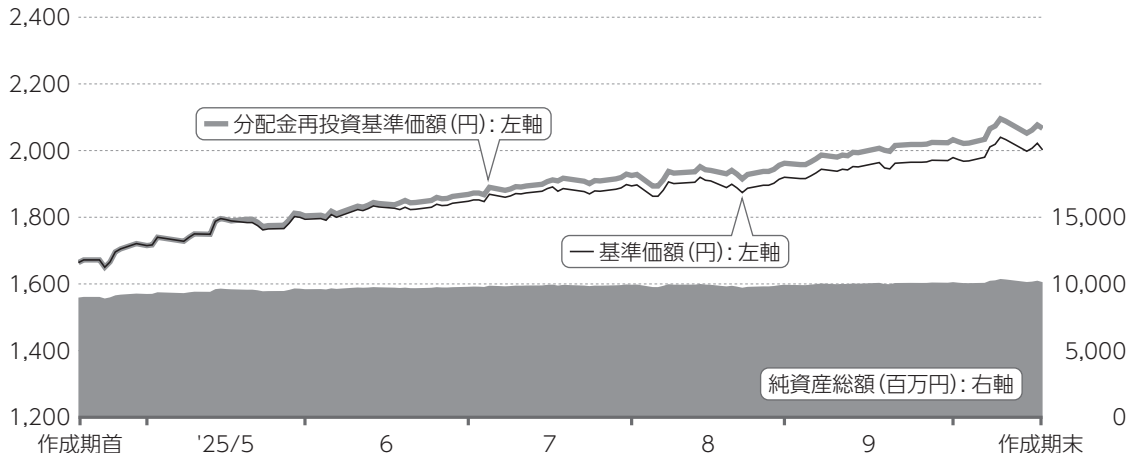
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について (2025年4月18日から2025年10月17日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	1,664円
作成期末	2,002円 (当作成期既払分配金60円(税引前))
騰落率	+24.2% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2025年4月18日から2025年10月17日まで)

当ファンドは、主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、カナダの高配当株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせる運用を行いました。

上昇要因

- 米国と主要な貿易相手国との間で関税交渉に進展が見られたことに加え、F R B (米連邦準備制度理事会) やカナダ銀行 (中央銀行) による利下げ期待が高まったこと
- 情報技術、金融、素材などのセクターが上昇したこと
- カナダドルが対円で上昇したこと

下落要因

- 資本財・サービス、情報技術、エネルギーセクターの保有銘柄が下落したこと

1万口当たりの費用明細 (2025年4月18日から2025年10月17日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	13円	0.685%	信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (経過日数 / 年日数) 期中の平均基準価額は1,864円です。
(投信会社)	(4)	(0.234)	投信会社: ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(8)	(0.438)	販売会社: 交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(0)	(0.012)	受託会社: ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数 売買委託手数料: 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 / 期中の平均受益権口数 有価証券取引税: 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	0	0.000	その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数
(保管費用)	(-)	(-)	保管費用: 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.000)	監査費用: 監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(-)	(-)	その他: 信託事務の処理等に要するその他費用
合計	13	0.685	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

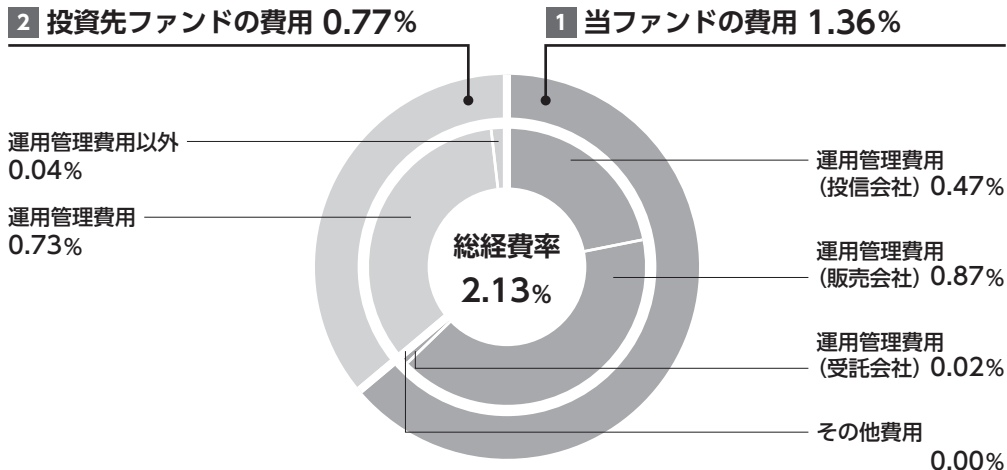
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率 (1 + 2)	2.13%
1 当ファンドの費用の比率	1.36%
2 投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.73%
投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、入手可能なファンド全体の経費率です。そのため、実際に投資しているシェアクラスの経費率とは大きく異なる場合があります。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

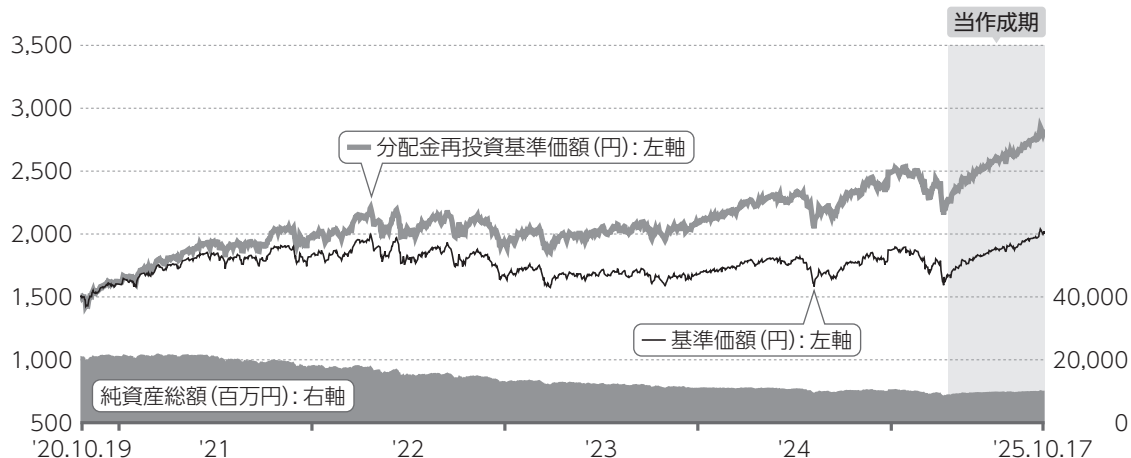
※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.13%です。

最近5年間の基準価額等の推移について (2020年10月19日から2025年10月17日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2020年10月19日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

		2020.10.19	2021.10.18	2022.10.17	2023.10.17	2024.10.17	2025.10.17
		決算日	決算日	決算日	決算日	決算日	決算日
基準価額	(円)	1,509	1,884	1,759	1,662	1,771	2,002
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	120	120	120	120	120
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	33.8	-0.4	1.4	14.2	20.7
純資産総額	(百万円)	21,276	19,995	14,390	11,779	10,372	10,133

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について (2025年4月18日から2025年10月17日まで)

カナダ株式市場は上昇しました。また、カナダドルは対円で上昇しました。

カナダ株式市場

カナダ株式市場は上昇しました。米国と主要な貿易相手国との間で関税交渉に進展が見られたことに加え、F R Bやカナダ銀行による利下げ期待が高まったことなどが上昇要因となりました。

原油価格は下落しました。中東の地政学リスクの高まりなどを背景に大きく上昇する局面もありましたが、O P E C (石油輸出国機構) と非加盟国のロシアなどで構成されるO P E C プラスの有志国が追加増産を決定したことや、ロシアとウクライナの停戦に向けた協議の進展などを受けて下落しました。

為替市場

カナダドルは対米ドルでは下落しましたが、対円では上昇しました。

カナダ銀行が8月まで政策金利を据え置くなか、日銀の利上げ期待が後退したことや日本の政局の不透明感などがカナダドル高・円安要因となりました。

ポートフォリオについて (2025年4月18日から2025年10月17日まで)

当ファンド

主要投資対象であるプリンシパル／CSカナディアン・エクイティ・インカム・ファンド ツイン α クラスを、期間を通じて高位に組み入れました。

プリンシパル／CS カナディアン・エクイティ・インカム・ファンド ツイン α クラス

持続的に高い配当の支払いを行うことが可能な銘柄を中心に、事業ファンダメンタルズ(基礎的条件)とバリュエーション(投資価値評価)が魅力的な銘柄を多く組み入れました。

先行き不透明感を背景に金価格が上昇していたことなどから、金の採掘などを手掛けるアグニコ・イーグル・マインズとアラモス・ゴールドへの配分を増やしました。一方、米国政府の関税政策を背景に利益率の悪化が懸念されたことなどから、肥料メーカーのニュートリエンを全売却しました。

キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の政府保証債を中心とした運用を行いました。

ベンチマークとの差異について (2025年4月18日から2025年10月17日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について (2025年4月18日から2025年10月17日まで)

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第143期	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	(0.56%)	(0.55%)	(0.53%)	(0.53%)	(0.51%)	(0.50%)
当期の収益	0	0	0	0	0	0
当期の収益以外	9	9	9	9	9	9
翌期繰越分配対象額	282	272	262	252	242	232

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、カナダの高配当株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、高水準のインカムゲインとオプションプレミアムの確保、ならびに中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

プリンシパル／CS カナディアン・エクイティ・インカム・ファンド ツイン α クラス

米国政府の関税政策による影響をはじめ、先行き不透明な状況が続いていますが、株式市場は堅調に推移しています。また、FRBによる追加利下げ観測が高まっていることなどは株式などのリスク性資産を下支えするとみています。

引き続き、個別企業の分析に基づくボトムアップの銘柄選択により、高配当銘柄の中でも、事業ファンダメンタルズの改善や投資家の期待の上昇が想定される銘柄への投資を通じて、安定的なリターンの獲得に努める方針です。

キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

交付運用報告書の電磁的方法による提供(電子交付)の推進について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われました。受益者の皆さまへの交付運用報告書の提供に関する規定について、従来は書面交付を原則としていましたが、書面交付または電磁的方法(電子メールへのファイルの添付、販売会社等のホームページにアクセスして閲覧等)による提供のいずれかに変更されました。

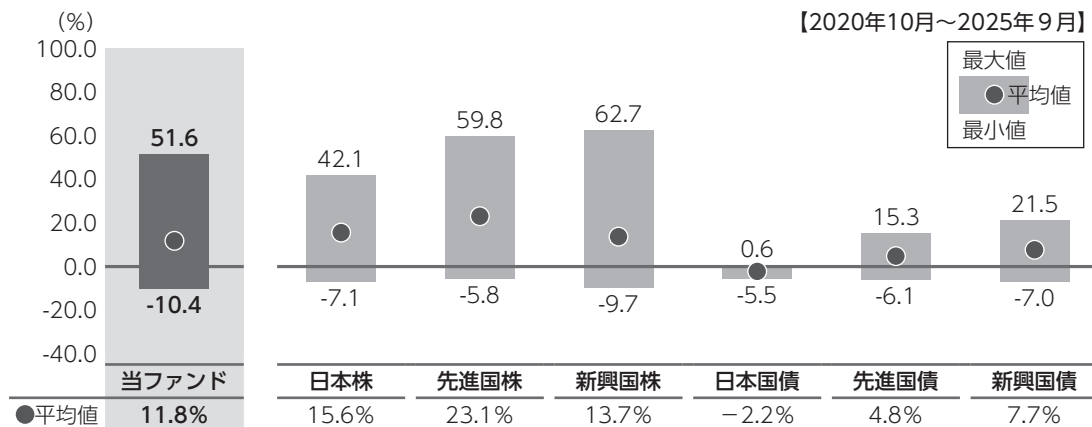
交付運用報告書を電磁的方法で提供することにより、書面の印刷および配送にかかる期間が短縮され、受益者の皆さまが、より早期に交付運用報告書をご覧いただくことや、時間や場所を問わずにご覧になることが可能になると考えられます。また、ペーパーレス化が推進されることにより、森林資源の保護や印刷・配送に伴う二酸化炭素の排出量の削減につながることを期待されます。

今後、電磁的方法による提供を実施することに関し、受益者の皆さまに事前告知等が行われますが、希望される場合には引き続き書面交付をすることも可能です。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法による交付運用報告書の提供を進めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式
信 託 期 間	2013年4月26日から2026年4月17日まで
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、カナダの高配当株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、高水準のインカムゲインとオプションプレミアムの確保、ならびに中長期的な信託財産の成長を目指します。
主 要 投 資 対 象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 プリンシパル／CS カナディアン・エクイティ・インカム・ファンド ツインαクラス カナダの株式等 キャッシュ・マネジメント・マザーファンド 本邦貸建て公社債および短期金融商品等
当 ファ ン ド の 運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ■カナダ株式を実質的な投資対象とし、主に配当利回りに着目した銘柄選定により信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■「プリンシパル／CS カナディアン・エクイティ・インカム・ファンド ツインαクラス」においては、カナダ株式の配当利回り水準に着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄の中から、個々の企業のファンダメンタルズを勘案して銘柄を選定します。外国投資信託証券における株式の運用は、プリンシパル・グローバル・インベスターズLLCが行います。 ■実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ■株式への投資に加え、ツインα戦略を行うことで、オプションプレミアムの確保を目指します。
組 入 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ■外貨建資産への直接投資は行いません。 ■毎月17日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。
分 配 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI (国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPMオルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

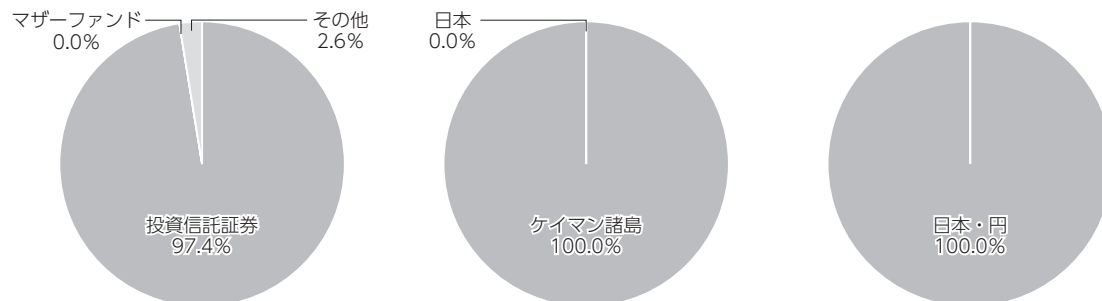
当ファンドの組入資産の内容(2025年10月17日)

組入れファンド等

銘柄名	組入比率
プリンシパル/CS カナディアン・エクイティ・インカム・ファンド ツインαクラス	97.4%
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	0.0%
コールローン等、その他	2.6%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第143期末	第144期末	第145期末	第146期末	第147期末	第148期末
	2025年5月19日	2025年6月17日	2025年7月17日	2025年8月18日	2025年9月17日	2025年10月17日
純資産総額 (円)	9,565,168,824	9,693,669,410	9,876,373,110	9,811,930,996	9,990,835,285	10,133,109,164
受益権総口数 (口)	53,619,084,269	53,164,063,968	52,603,829,928	51,954,187,282	51,296,628,442	50,609,864,953
1万口当たり基準価額(円)	1,784	1,823	1,878	1,889	1,948	2,002

※当作成期における、追加設定元本額は324,925,159円、解約元本額は3,657,470,871円です。

組入上位ファンドの概要

プリンシパル／C S カナディアン・エクイティ・インカム・ファンド ツインαクラス (2023年4月1日～2024年3月31日)

基準価額の推移以外は投資ファンドを含むシェアクラスで構成された「プリンシパル／C S カナディアン・エクイティ・インカム・ファンド」の情報で、プリンシパル・グローバル・インベスターズLLCから提供されたデータに基づき作成しています。

基準価額(円建て)の推移



※分配金再投資ベース

1万口当たりの費用明細

※単位当たり費用明細は入手できるデータがないため記載していません。

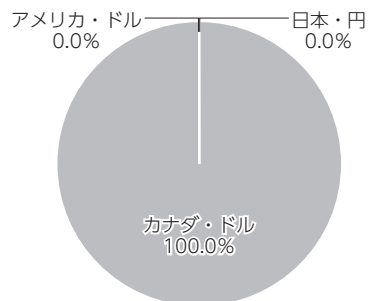
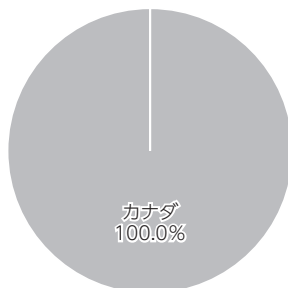
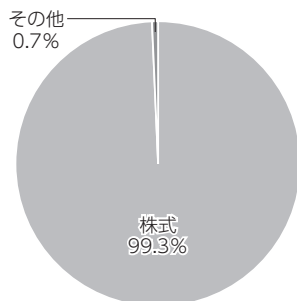
組入上位銘柄

(基準日：2024年3月29日)

	銘柄名	業種名	比率
1	カナダロイヤル銀行	金融	8.7%
2	カナディアン・ナチュラルリソースズ	エネルギー	5.6%
3	ショッピファイ	情報技術	4.9%
4	カナディアン・インペリアル・バンク・オブ・コマース	金融	4.6%
5	カナディアン・パシフィック・カンザス・シティ	資本財・サービス	4.0%
6	トロント・ドミニオン銀行	金融	3.9%
7	バンク・オブ・モントリオール	金融	3.3%
8	カナディアン・ナショナル・レールウェイ	資本財・サービス	3.1%
9	サンコア・エナジー	エネルギー	2.9%
10	アリマンタシオン・クシュタール	生活必需品	2.8%
	全銘柄数	57銘柄	

※比率は、組入銘柄の評価額合計を100%として計算した値です。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※資産別配分におけるその他にはリミテッド・パートナーシップを含みます。

※国別配分は原則発行国もしくは投資国を表示しています。

※基準日は2024年3月29日です。